

講演会 死から学ぶ 1

11月29日(日) 14時~16時 武蔵野スイングホール 11階レインボーサロン

JR中央線武蔵境駅北口徒歩2分

参加申込：完全予約制 **FAX 042-366-8642**

メール **tethlecture2015@gmail.com**

主催：一般社団法人The Egg Tree House

後援：小金井市、小金井市教育委員会、(公財)がんの子どもを守る会、上智大学グリーンフケア研究所、トータルペイン緩和研究会、順天堂大学医学部緩和医療学研究室

講演内容紹介

奥野滋子(※1) 「死から学ぶ」

人間は死にたくなくても、いつかは必ず死ななければなりません。誰もが必ずいつかどこかで愛する人との死別を経験します。

私がホスピスや緩和ケア病棟に入院している患者さんから、「死ぬのが怖い、死んだらどうなるの」と何度も質問されました。また、TVドラマの1シーンのような最期を迎えられるようにサポートしてほしいと言われたこともあります。ほとんどの人にとっては「死は怖いもの」であり、「穏やかで、しかしながら潔い死、格好良い死」を望まれる方が多いようですが、考えているように最期を迎えられないのも事実です。

今回は死を乗り越えるための具体的な方法を論じるものではありませんが、自分の死について考える時、私たちは他者の死からしか学べないことがたくさんあると思います。これまでに出会った患者さんの生き方、死に方をご紹介しながら、どんな死に方であっても構わない、最期まで「死にたくない」と叫びながら迎える死であっても、そばに誰も居ない一人の死であっても、人生の完成はすべて尊いものだと感じていただければ幸いです。

一方、遺された人が亡くなった相手に対して懺悔や後悔の念を持ち続け、自分を責めたりすることがあります。喪失感や悲しみ、寂しさに長く苦しんでおられる方は少なくありません。今こうした方に対するグリーンフケアが求められており、老若男女を問わず、どんな方でもケアを受けることができます。

死があるから生は輝く。今命ある時にこそ、精一杯生きてみよう、1人ではないのだと思っただけの機会になればと考えております。

※1：湘南中央病院 在宅診療部長、順天堂大学医学部緩和医療学研究室特任准教授

大熊雅士（※2） 「大切な人を失う時」

私はこれまで 34 年間にわたって、何らかの形で学校教育に携わってきました。担任は 16 年間だけなのですが、同級会の招待は年に何回かあります。しかし、教え子の葬式の連絡はもらったことはありません。幸せなことだと思います。

とは言っても、教え子の親や関係する学校の子どもの死には何度も出会っています。そのたびに、話を聞くことや、そばにいただけしかできない自分の力のなさを実感していました。それが、東日本大震災をきっかけにして、グリーフケアの大切さを学びました。これまでに 800 人以上の福島の子どもたちの心のケアのためのキャンプを行っているのですが、グリーフケアの考え方が、キャンプを運営する上で基本となるからです。

この取組から学んだことが、今、本当に残念なことなのですが、学校の子どもたちのために使う機会が多くなっています。友だちをなくしてしまった同級生のためのグリーフケアを行うためにです。友だちを失ってしまった子どもたちは本当に傷ついています。その心のケアは今、本当に必要なことなのです。

※2: NPO 法人元気プログラム作成委員会副理事長、カウンセリング研修センター学舎ブレイブ室長

渡辺美奈（※3） 「1人ひとりを大切に」

私は 30 年余り看護師として赤十字病院に勤務をしてきました。新卒で配属された小児病棟の子どもたちをはじめ、看護師長として関わってきた患者さんと数えきれない出会いとお別れを経験してきました。在宅医療が推進される一方で、現実には 8 割近くの方が今も病院でお亡くなりになっています。病院では予期できる死もできない死もあり、ベッドサイドにいる看護師達は多くのジレンマをかかえます。私も十分な看護がいつでもできていたとは思っていません。そのなかで、今でも心に残る患者さんとのエピソードを紹介しつつ、病院で働く一看護師として、「一人ひとりを大切に」と、学んだことをお話したいと思います。

※3: 武蔵野赤十字病院がん相談支援センター看護師長

是枝嗣人（※4） 「お葬式は種まき広がる・グリーフワーク」

葬儀業界でグリーフ・ケアという言葉が聞かれるようになって 10 年がたちました。葬儀会場はグリーフを強める場所…。葬儀前後のグリーフ・ケアが重要と多くの人は語ります。しかし介護・看取り・おくり・供養の一連でのグリーフワークの中で葬儀はとても重要な役割を果たします。葬儀の会場で蒔いた種がいろいろな所で花開く。そんなおくりのお話です。

※4: 小金井祭典（株）代表取締役、The Egg Tree House ファシリテーター

一般社団法人 The Egg Tree House

URL: <http://www.eggtreehouse.org/>

e-mail: egg.tree.house@gmail.com FB: <https://www.facebook.com/theeggtreehouse>